

## METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

## 特集 公立学校教員採用候補者選考第二次選考結果(最終合格)速報!

公立学校の令和7年度教員採用試験(令和8年度採用)第二次選考の結果(最終合格)が各自治体別に発表されました。今年度の公立学校合格者は全体で延べ12名(現役6名、既卒6名)となりました。

また、東京都期限付任用教員として2名が名簿登録されました。

千葉県

1名

東京都

10名

愛知県

1名

\*東京都期限付

2名

\*期限付任用教員採用候補者名簿登載者

第二次選考不合格者のうち一定の基準に達しているとみなされた者です。来年度は採用試験で第一次選考が免除されるとともに、教諭として任用される可能性があります。

## &lt;合格者等一覧(10月15日現在)&gt;

自治体	校種・教科	合格者等	人数
千葉県	中高・国語	比嘉彩夏	1
東京都	中高・国語	岡村萌果(卒)	1
東京都	中高・英語	大場伊織 小松由芙 霜方柚奈 知念咲花 芳野友介 坂内隆斗(卒) 原山要祐(卒) 富樫美智雄(卒) 塩入太陽(卒)	9
愛知県	英語	庭山恵太(卒)	1
合計			12
東京都期限付	中・高英語	大沢和心 花澤真彩	2

## 教職への挑戦を経て一合格者の喜びの声



東京都中高英語合格

英米語学科4年  
知念咲花さん

昨年の前倒し選考で悔しい思いをした分、今年こそは絶対に合格したいという強い気持ちで準備を進めました。

METTSでは、一次試験対策や東京都の教育方針について丁寧に指導いただき、二次試験の個人面接や英語面接の練習でも細やかなアドバイスをいただきました。そのおかげで、自信を持って自分の意見を伝えられるようになり、本番も緊張せずに力を発揮することが出来ました。支えてくださった先生方に心から感謝しています。春からは、子どもたちに寄り添える先生を目指して頑張ります。



千葉県中高国語合格

日本語学科4年  
比嘉彩夏さん

教員採用試験に向けての対策中は、今年こそ絶対受かってやる!という強い気持ちで取り組みました。

私は、METTSが開催してくださった試験対策講座は実習中以外すべて参加したのですが、集団討議・個別面接・模擬授業の練習は回数を重ねるごとに自信となり、当日も堂々と挑むことができました。不安を感じやすく緊張しやすい私にとって、対策講座の存在はすごく支えとなりました。毎回の対策講座や自習中も沢山気にかけてくれた先生方、一緒に乗り越えてくれた友達に本当に感謝しています。

## 教科教育法勝浦合宿（国語科・英語科）

9月8日から9月11日まで2泊3日で国語科と英語科の教育法合同合宿が明海大学セミナーハウス勝浦コテージで実施されました。「国語科教育法Ⅰ・Ⅲ」と「英語科教育法Ⅰ・Ⅲ」履修者のうち13名が参加しました。

初日は、藤井教職課程センター長による教員が身に付けておくべき資質・能力についての講話と山本教授による教員採用試験対策の一環としての小論文指導が行われました。2日目は、学科ごとに分かれて研修を行いました。国語科履修生では、「『羅生門』精読」と題して、浅田教授の下、高等学校の定番教材を用いて、教材研究の仕方をゼミナール形式で実践的に学びました。また、山本教授の指導により中学校での授業を行う上での基礎的な知識となる口語文法について演習を交えて復習をしました。英語科履修生は4つのグループごとに50分の模擬授業を行いました。各グループの模擬授業の後に米村教授、西貝教授、金子教授がそれぞれ講評をしました。普段の授業では時間が足りなくて十分に時間の取れない学生による模擬授業をしっかりと時間をかけて行い、さらに振り返り・講評を通して学びを深化させることができました。



この合宿を通して今まで以上に「チーム」としての一体感が増えました。参加した学生からは、「今後の教職に就くための試験対策や模擬授業など自分のためになるコンテンツがたくさんあり合宿に来てよかった」や「今後の授業に対してより一層集中して取り組んでいきたいと思える機会になったので参加できて良かった」などの声が聞かれました。



## 浦安市青少年自立支援事業「未来塾」

浦安市教育委員会主催の浦安市青少年自立支援事業「未来塾」で、毎年、教職課程を履修する学生が、学習支援員としてボランティア活動を行っています。未来塾は、市内の公立中学校の生徒を対象に、地域住民や元教員、大学生等の協力を得て、子どもたちの基礎的・基本的な学力向上や学習習慣の定着を図ることを目的とし、数学や英語の補充学習の個別支援を行うものです。参加を希望する中学生は、地域の公民館に週1回通い、午後6時30分から8時まで、数学や英語を学んでいます。

今年度は、日本語学科、英米語学科の学生12人が参加しています。本学の学生は、堀江、富岡、美浜、日の出、高洲の5か所の公民館で、それぞれ、堀江中、見明川中、富岡中、入船中、美浜中、日の出中、明海中、高洲中の生徒を担当しています。3年生に高校入試対策の助言をするなど、生徒一人一人の希望に応じた学習支援を行い、自主的な学習習慣の定着を促すとともに、出席の管理や教室の整備など、各教室の運営全体に携わっています。



### 学生の声

「どうしたら生徒が質問しやすい空気をつくることができるか、いつも考えています。様々な背景や性格の生徒がいる中で本人の理解度やモチベーションに合わせて教えることはとても難しいです。実際に中学生と関わることで、教職課程の授業で学ぶ視点が少し明瞭になったと思います」（日本語学科2年 藤原幹太さん）

「実際に中学生がどのように勉強しているかをこの未来塾で知ることができました。私が担当している1年生は皆真面目に取り組んでおり、分からないことはしっかり質問してくれるので、頼られていると思うととても嬉しい気持ちになります。未来塾に参加して本当に良かったと思っています」（英米語学科3年 蜂巢瑠斗さん）

「未来塾で指導員として活動していて、大学の授業だけではできない経験ができていて感じています。大変だなと思うこともありますが、自分なりに教えたり、説明したりして、「わかった!」「ありがとうございます!」と言ってもらったときはとても嬉しいです」（日本語学科2年 高瀬亮さん）



生徒さんたちに勉強を教えたり、自分でも分からないところを学んだりして、先生になるために頑張っています!」（日本語学科2年 保科美咲さん）

## 2026年度 教員採用候補者選考に向けてスタート!!

10月9日、教員採用候補者選考受験対策「スタート模試」が本学2303講義室で実施され、教職課程を履修している2年生26名、3年生3名の計29名が受験しました。特に2年生は、近年多くの自治体で導入が進む「前倒し選考」を見据え、早い段階から受験準備を意識して臨みました。

模試では、教職教養分野を中心とした45分間の筆記試験を行いました。受験後には、自己採点と振り返りを通して、自らの得意・苦手分野を把握する予定です。こうした振り返りの過程を通じて、今後の学習計画を具体化していくことが期待されます。

受験した学生からは、「知らない言葉がたくさんあって、もっと勉強しないといけないと思った」「選択肢が似ていて難しかった。しっかり理解していないと解けないと感じた」「授業で習った内容が出題されていて、学びが繋がった」などの声が聞かれました。模試を通して、学習意欲を新たにしている姿が印象的でした。

教職課程センターでは、今後も模擬試験や面接練習、個別相談などを継続的に実施し、学生一人一人の挑戦を支えていきます。

